



ふじみだい

553の笑顔

副校長 田畑 彰紀

新年度が始まり、一か月が過ぎました。入学式のとき、桜色に染まっていた校庭の木々は、ひと月たち、鮮やかな若葉色に変わり、太陽の光を浴びてきらきらと輝いています。職員室から見える校庭の風景の変化に、季節の移ろいを感じます。

さて、4月25日(木)、令和6年度富士見台小学校の全校児童が体育館に集まり「1年生を迎える会」を行いました。67人の新1年生が、新たに富士見台小学校へ仲間入りしました。

まずは、1年生と6年生がペアになって入場。2年生から5年生が温かい拍手で1年生の入場を迎えました。その後、はじめの言葉や歓迎の言葉、富士見台小学校の紹介、1年生へのプレゼント。ゲーム「富士見台へ行こうよ」では、異なる学年の子たちでグループを組んで、学年を超え楽しく交流しました。

この「迎える会」で印象に残ったのは、たくさんの子どもの笑顔。どの子にもにっこり笑顔で、全校で行った「迎える会」を心から楽しんでいる様子が強く伝わってきました。



Peace begins with a smile.

ノーベル平和賞受賞者であるマザーテレサの言葉です。「平和は微笑みから始まる」「幸せは笑顔から」などと訳されるそうです。この4月に着任したばかりの私に、地域の方をはじめとするたくさんの方が、「富士見台小学校はいい学校だよ」と教えてくださいます。「いい学校」と聞いて、みなさんはどんな学校をイメージされるでしょうか。「いい学校」にはいろいろな要素があると思いますが、突き詰めて考えると、私にとって「いい学校」は「子どもたちの笑顔があふれる学校」だと思っています。マザーテレサの言葉を借りると、「Great school begins with a smile.」といえるのではないのでしょうか。

今年度、富士見台小学校は全校児童553名でスタートしました。「553の笑顔」が花咲く素敵な学校にするために、教職員が一丸となり子どもたちの成長を支えたい、そんな思いを強くした「1年生を迎える会」でした。

申し遅れました。本年度、西中学校より異動してきました副校長の田畑 彰紀(たばた あきのり)です。どうぞ、よろしく願いいたします。今から20数年前、私が教師として初めて着任したのは、おとなりの稲荷台小学校でした。先日、本校をご担当されている主任児童委員の方とお会いする機会がありましたが、その方は稲荷台小で私が担任したお子さんの保護者の方でした。また、保護者の方で、「実は私の父が西中出身なんです」という方もいらっしゃいました。富士見台小学校との「ご縁」を感じることの多い日々です。

今後も、本校の教育活動にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。